



生地カタログ
Fabric Catalog



和装白生地、絹の「伊と幸」として積み上げてきた、絹のものづくりの心と感性を活かし、空間装飾材へのご提案する「絹ガラス」シリーズ。私たちは、絹の美しさとそこに紡がれた文化を、ひとつの日本の形としてより広く、多くの方に触れていただける事を願っております。「絹ガラス」シリーズを代表する「絹ガラス」、更に用途が広がった「絹アクリル」や「絹障子」といった異素材との組み合わせで生まれた商品を多数展開しています。ここではシリーズ全ての製品に共通してご使用いただける伊と幸の白生地とその特注加工をご紹介します。

※一部適さない組み合わせもございます。

目次

生地

薄絹刺繍 ... P.04 ~

- ・ Group A 氷割 大王松菱 遠波
渦巻き 宝相華紋 桜重ね
糸菊尽くし 切子菱 花織紋
- ・ Group C 七宝 麻の葉 巻網
- ・ Group E 葡萄唐草 竹林の道
- ・ Group S 永遠の石

紋紗 ... P.20 ~

- ・ Group A 輪つなぎ けぶり立涌

紋意匠縮緬 ... P.23 ~

- ・ Group E 墨流し 木立 霞

薄絹 ... P.27 ~

- ・ Group A 霞絹 シルクシフォン 手絞り

特注加工

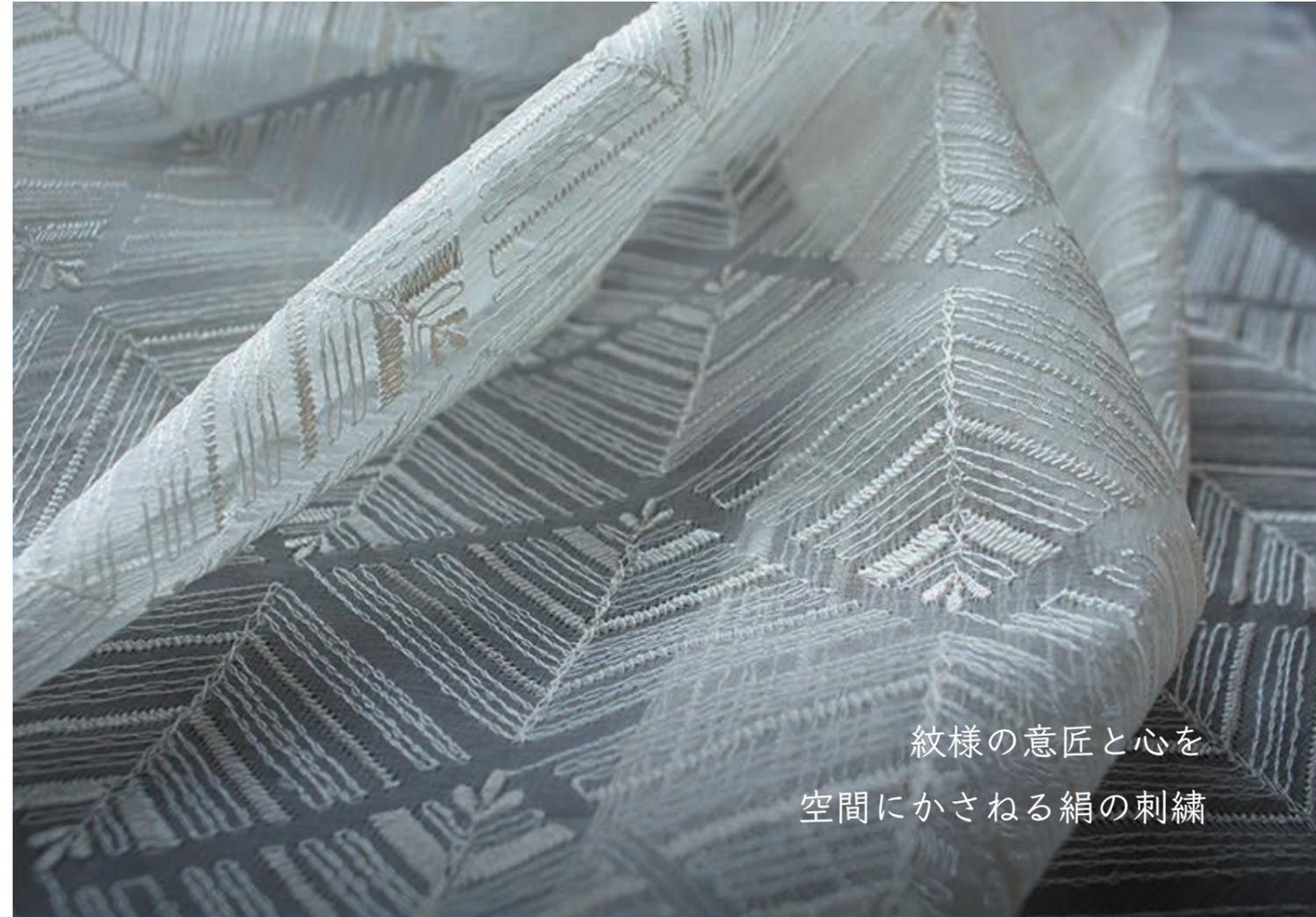
金彩加工 ... P.33 ~

- 筒描き 振金砂子 摺箔
- 切箔・野毛 真綿金彩

染色加工 ... P.35 ~

- 引き染 墨流し染 絞り染

薄絹刺繍



紋様の意匠と心を
空間にかさねる絹の刺繍

生地

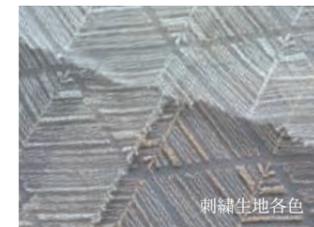
細い絹糸を平織にした薄絹に、刺繍で紋様を施した生地です。刺繍糸は絹と金色系もしくは銀色系の3種でのご用意が可能で、絹糸のみの白刺繍ではお好きな色へのお染めも承ります。あしらわれた刺繍紋様には、吉祥文をはじめとして様々な願いや想いが結び付けられており、透かしのある面材とすることで空間に紋様の意匠と心をかさねます。伝統的な日本の紋様をもとに独自にデザインしているため、ご指定のモチーフでの特注紋様もお誂え致します。絹の美しさと立体感のある刺繍の表情をお楽しみください。

Fabric Information

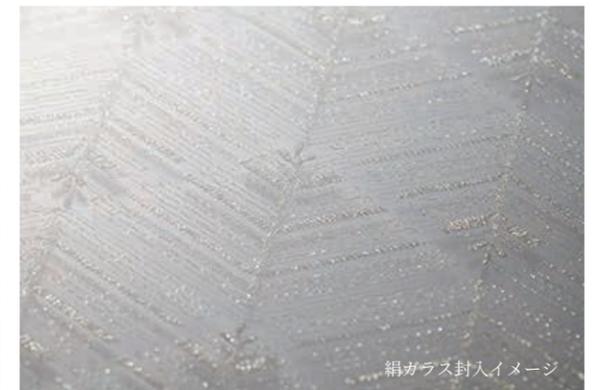
Width	950mm
Content	Silk
Embroidery	Silk
	Polyester



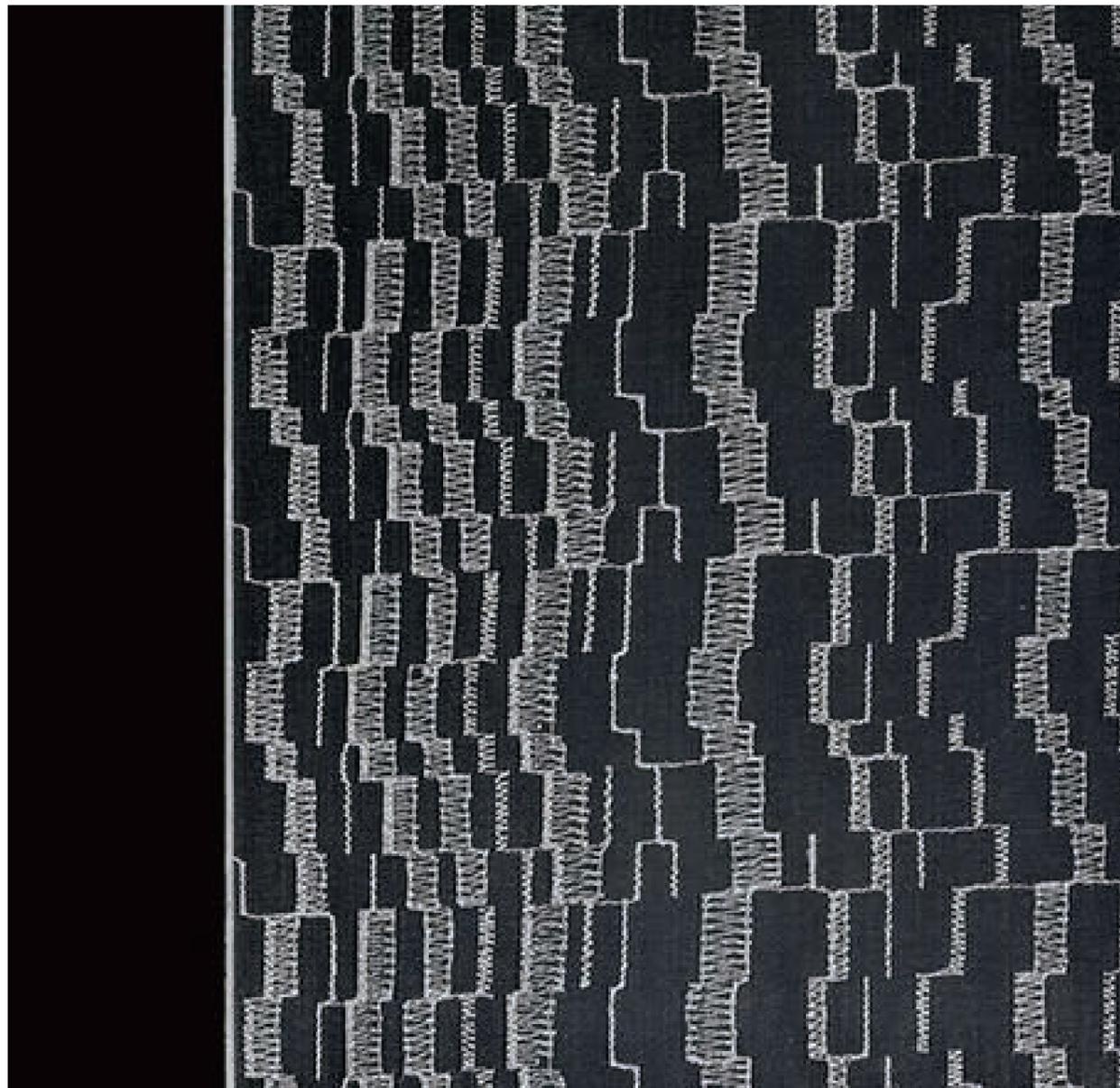
刺繍糸各色



刺繍生地各色

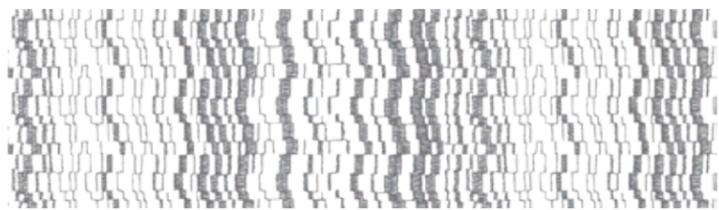


絹ガラス封入イメージ



氷割
Hiware

涼やかさを感じさせる幾何学的な縞を氷に見立てた紋様です。微細なひびから氷山の断崖のような大きなスケールにまで共通して見出される自然の形状は、様々なイメージを想起させます。



S = 1 : 5

Pattern Information
No. JY90817
Price group A

Color



銀糸

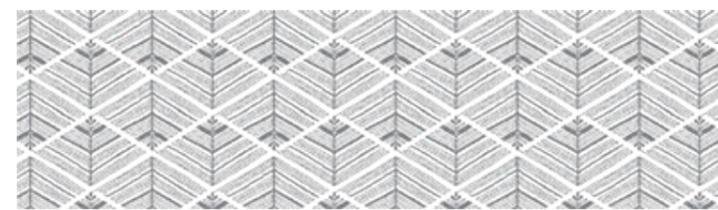


絹糸 (白糸)



大王松菱
Daio matsubishi

厳しい冬の中にあっても色褪せることの無い松は「歳寒の三友」のひとつとして数えられており、代表的な吉祥文様として長寿や繁栄を象徴します。中でも雄大な大王松を紋様化し、格式を感じさせる菱の意匠にしました。



S = 1 : 5

Pattern Information
No. JY90818
Price group A

Color



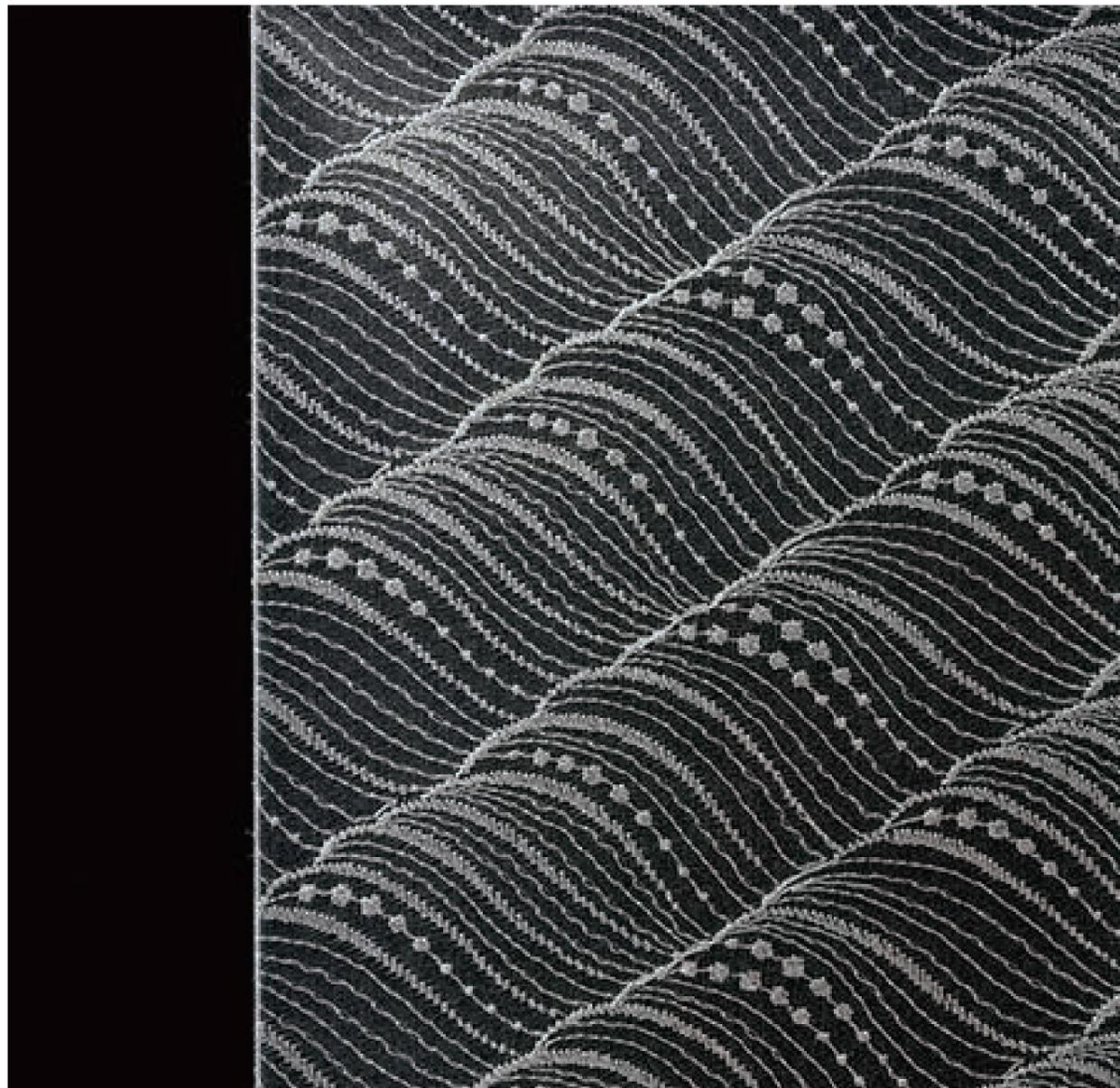
金色糸



銀糸

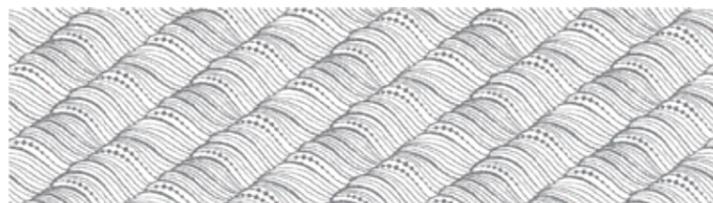


絹糸 (白糸)



遠波 Tonami

遠く穏やかな波間に見る瞬間の輝きを表した紋様です。止むことなく寄せては返す波は、絶え間のない永遠の広がりをおもわせることから、不滅や長寿、誕生などの意味を持つとされています。



S = 1 : 5

Pattern Information
No. JY90815
Price group A

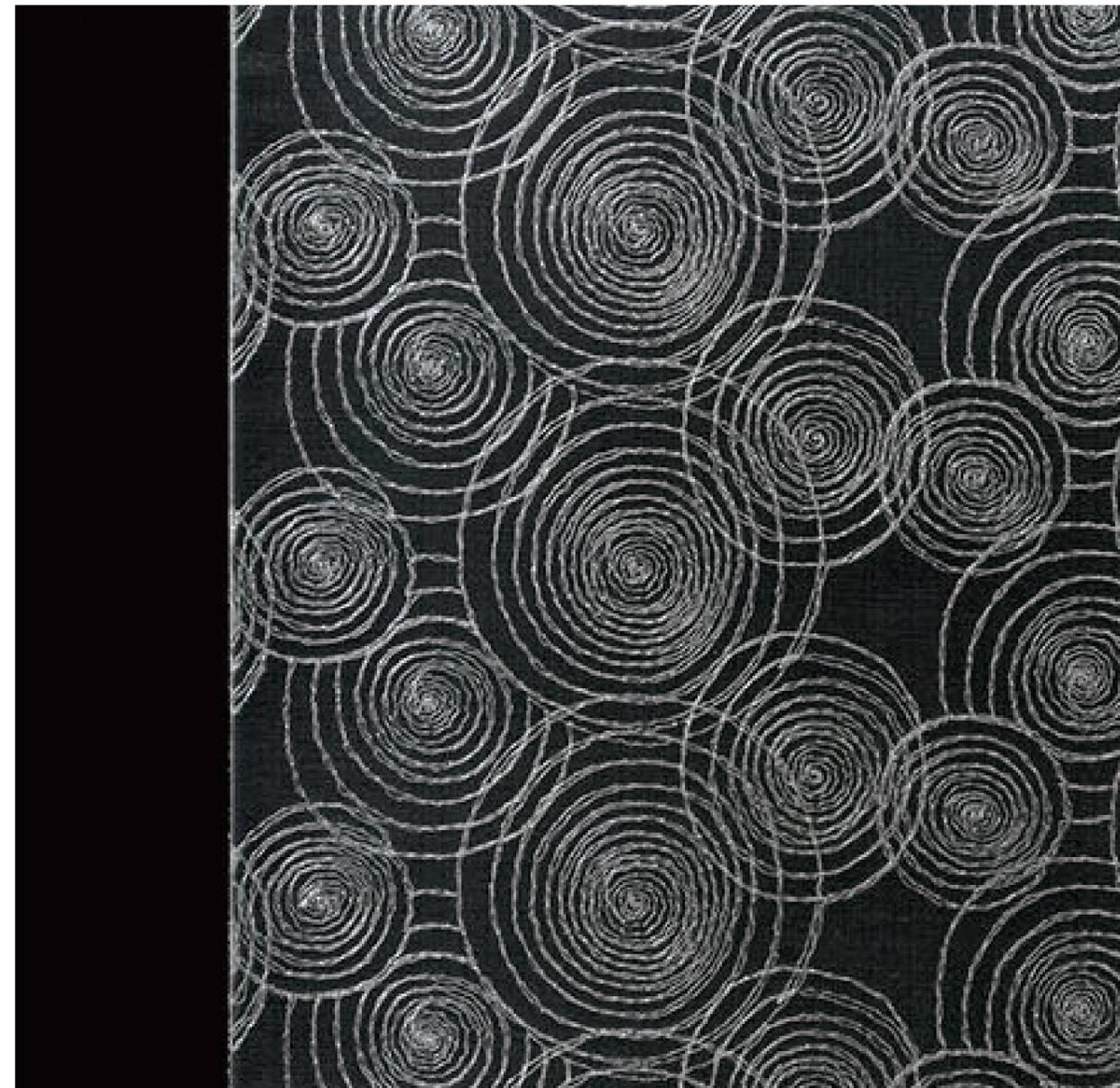
Color



銀糸

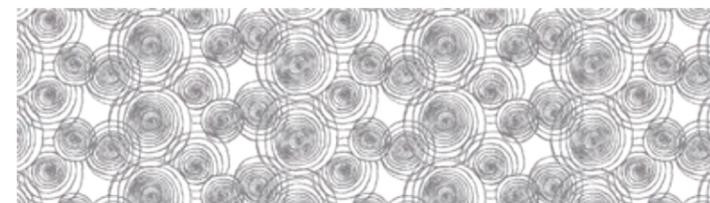


絹糸 (白糸)



渦巻き Uzu maki

ゆっくりと水面に広がってゆく繊細な波紋を模した紋様です。広がりながら互いに干渉しあい、美しい景色を織りなしていく様は、人と人のご縁で響き合う、繋がりのお輪を表します。



S = 1 : 5

Pattern Information
No. JY90823
Price group A

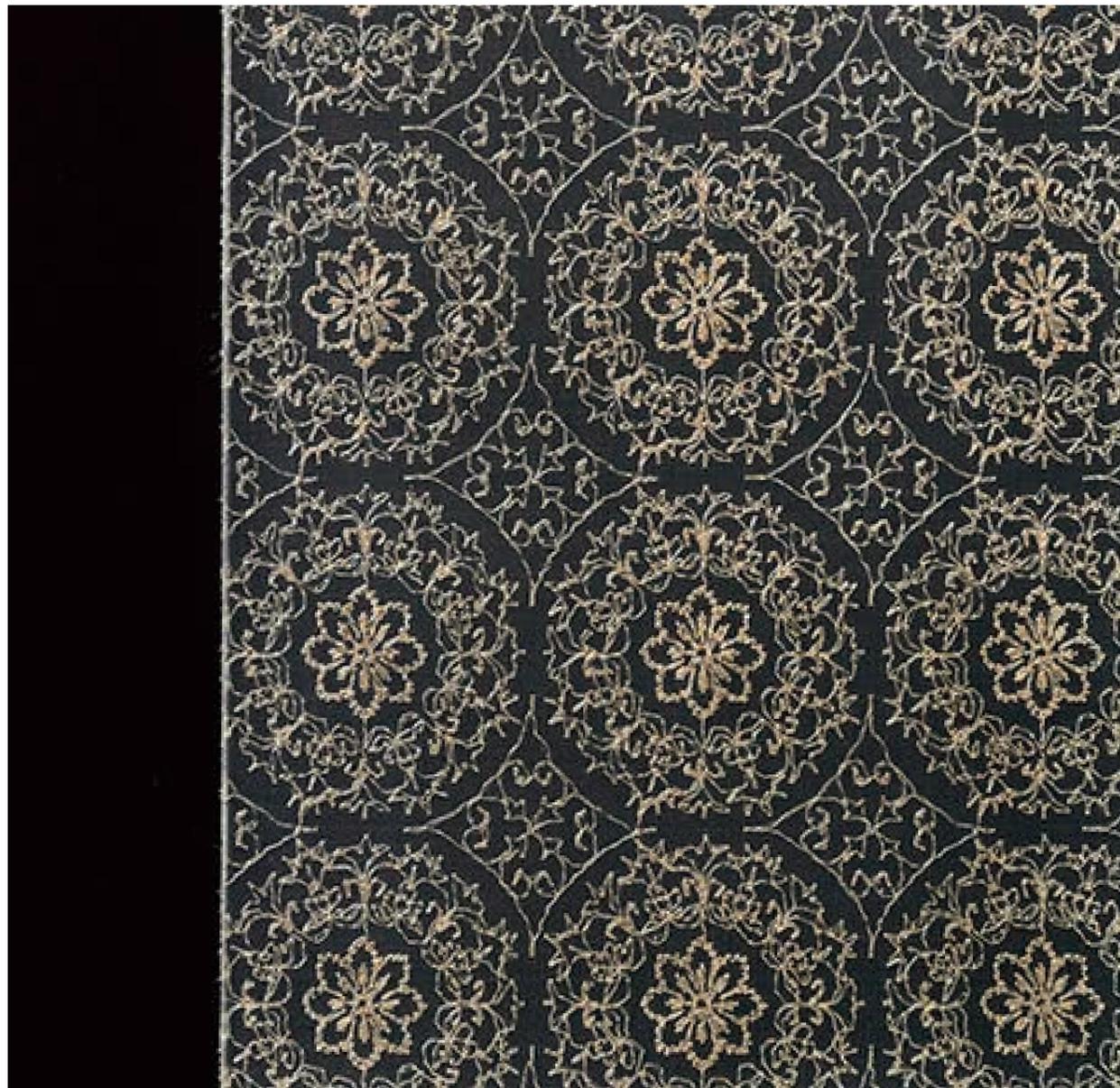
Color



銀糸



絹糸 (白糸)



宝相華紋

Hoso kamon

正倉院宝物にも見られる宝相華は、文様化された架空の多弁花です。緻密で装飾的な意匠を持つこの文様を丸輪紋とすることで、すっきりとした格調の高さを感じさせます。



S = 1 : 5

Pattern Information

No. JY90768

Price group A

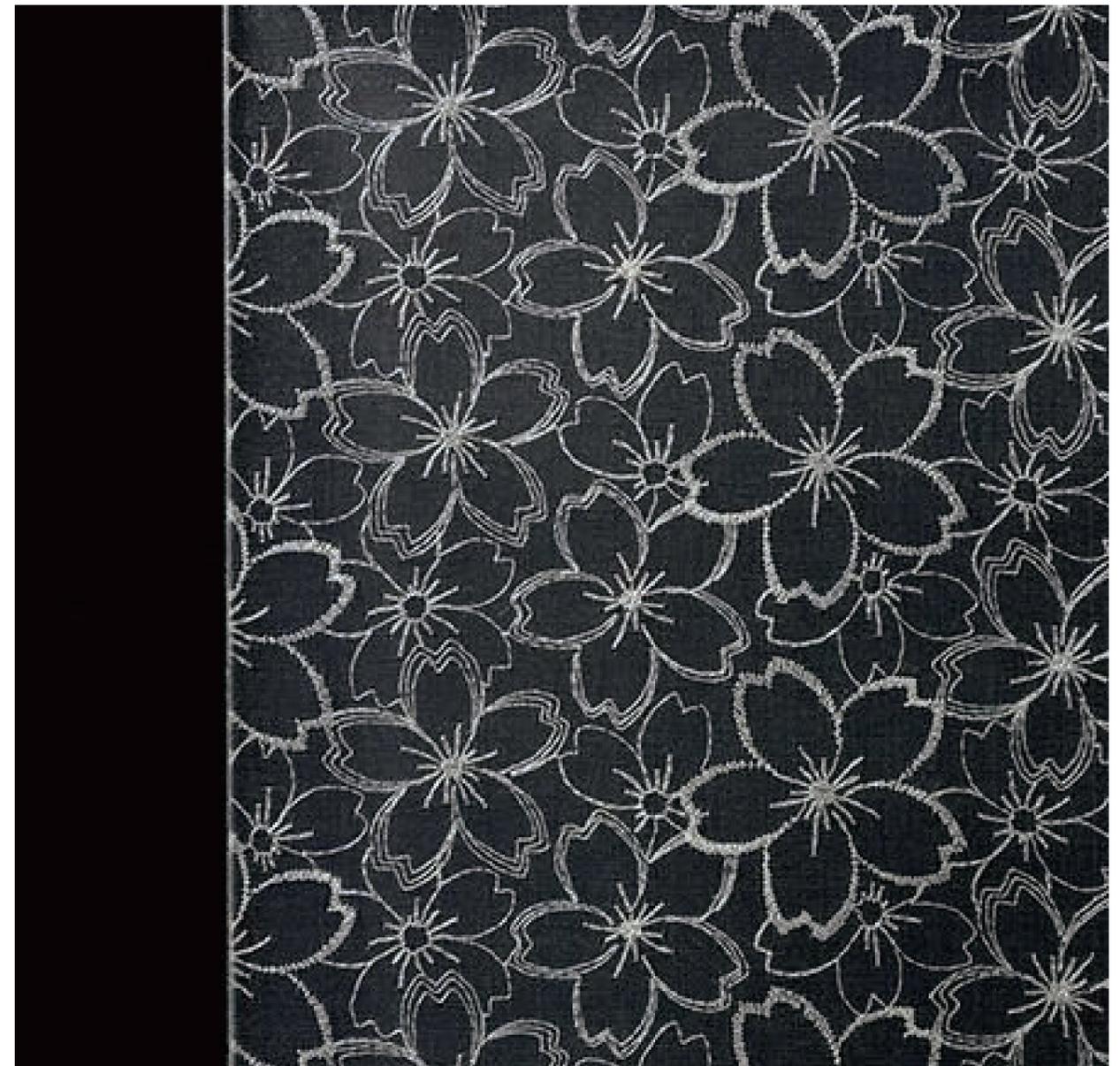
Color



金色糸



絹糸（白糸）



桜重ね

Sakura gasane

花を重ねて表した満開の桜は、古くから愛されてきた日本の心の花です。華やかで天晴な様には、豊かさや幸先の良い始まりへの願いが込められています。



S = 1 : 5

Pattern Information

No. JY90207

Price group A

Color



銀色糸



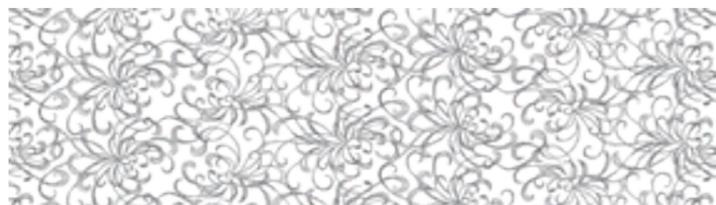
絹糸（白糸）



糸菊尽くし
Itogiku zukushi

Pattern Information
No. JY90825
Price group A

Color



S = 1 : 5



切子菱
Kiriko bishi

Pattern Information
No. JY91507
Price group A

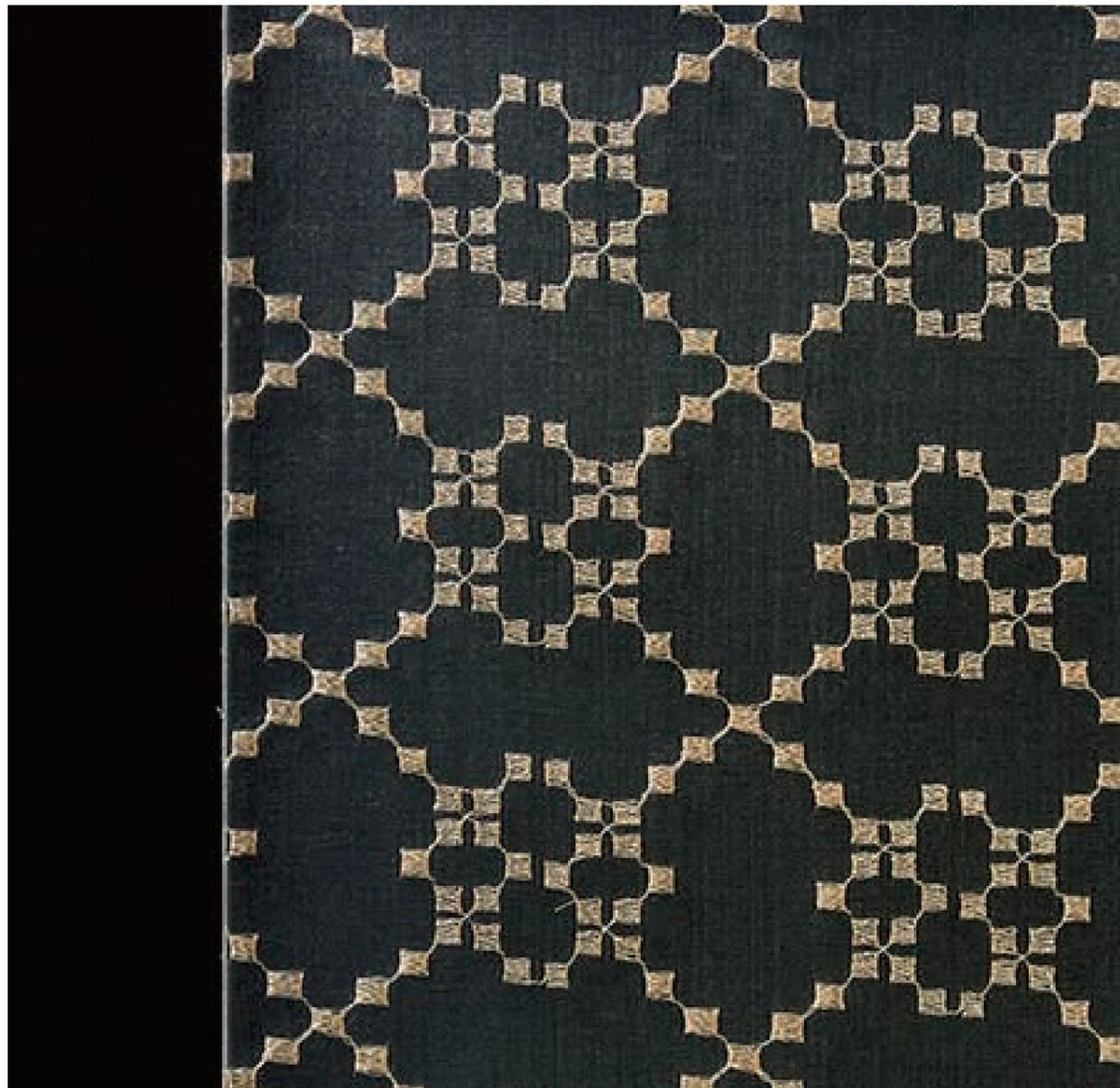
Color



代表的な幾何学文様のひとつである菱文様は平安時代の有職文様にもよく見られ、多種多様な意匠が作られてきました。組子の意匠に見られる「井桁菱」を切子硝子のような強弱のある繊細な線で表現しました。

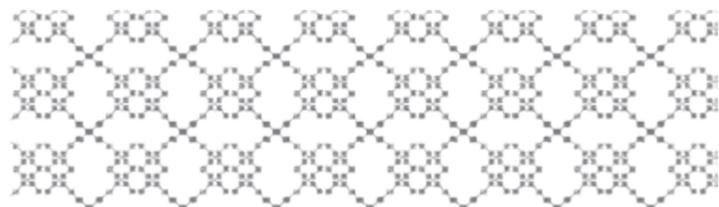


S = 1 : 5



花織紋 Hanaori mon

首里織の一種であり、琉球の王家のために格式のある夏衣として織られていた「花倉織」を刺繍で表現しました。特徴とする可憐な花のような織で長寿を願う「風車花」を配しています。



S = 1 : 5

Pattern Information
No. JY91500
Price group A

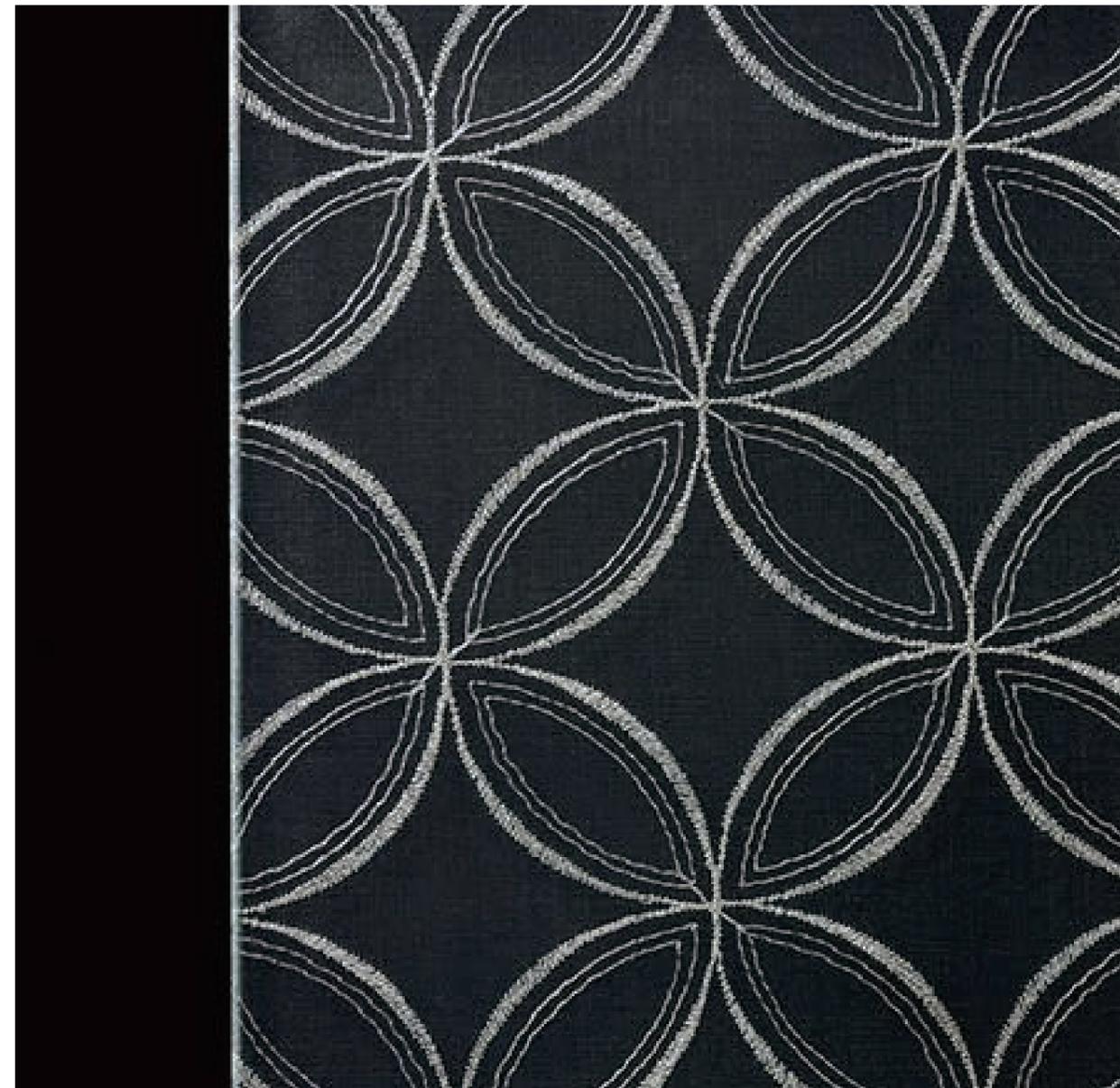
Color



金色糸



銀色糸



七宝 Shippo

仏教の言葉では、金・銀・瑠璃・玻璃・砗磲（シャコ）・珊瑚・瑪瑙を七つの宝とし「七宝」と呼ばれます。四方へ繋がる輪は人と人のご縁を表し、七宝に値することから吉祥文様とされています。



S = 1 : 5

Pattern Information
No. JY91334
Price group C

Color



金色糸



銀色糸

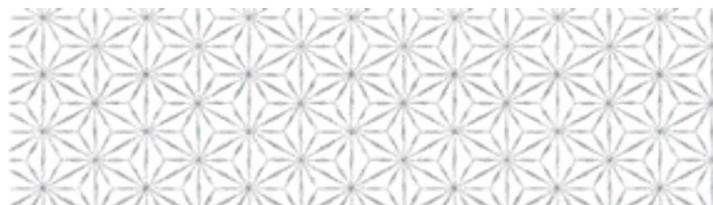


絹糸（白糸）



麻の葉 Asa no ha

麻は生命力が強く、早く丈夫に育つ植物です。麻の葉文様は、三角形が集まった六角形で構成されている事から、魔除けの意味合いを持つ文様とも考えられており、護りと成長、両方の願いが込められた柄になります。



S = 1 : 5

Pattern Information
No. JY91323
Price group C

Color



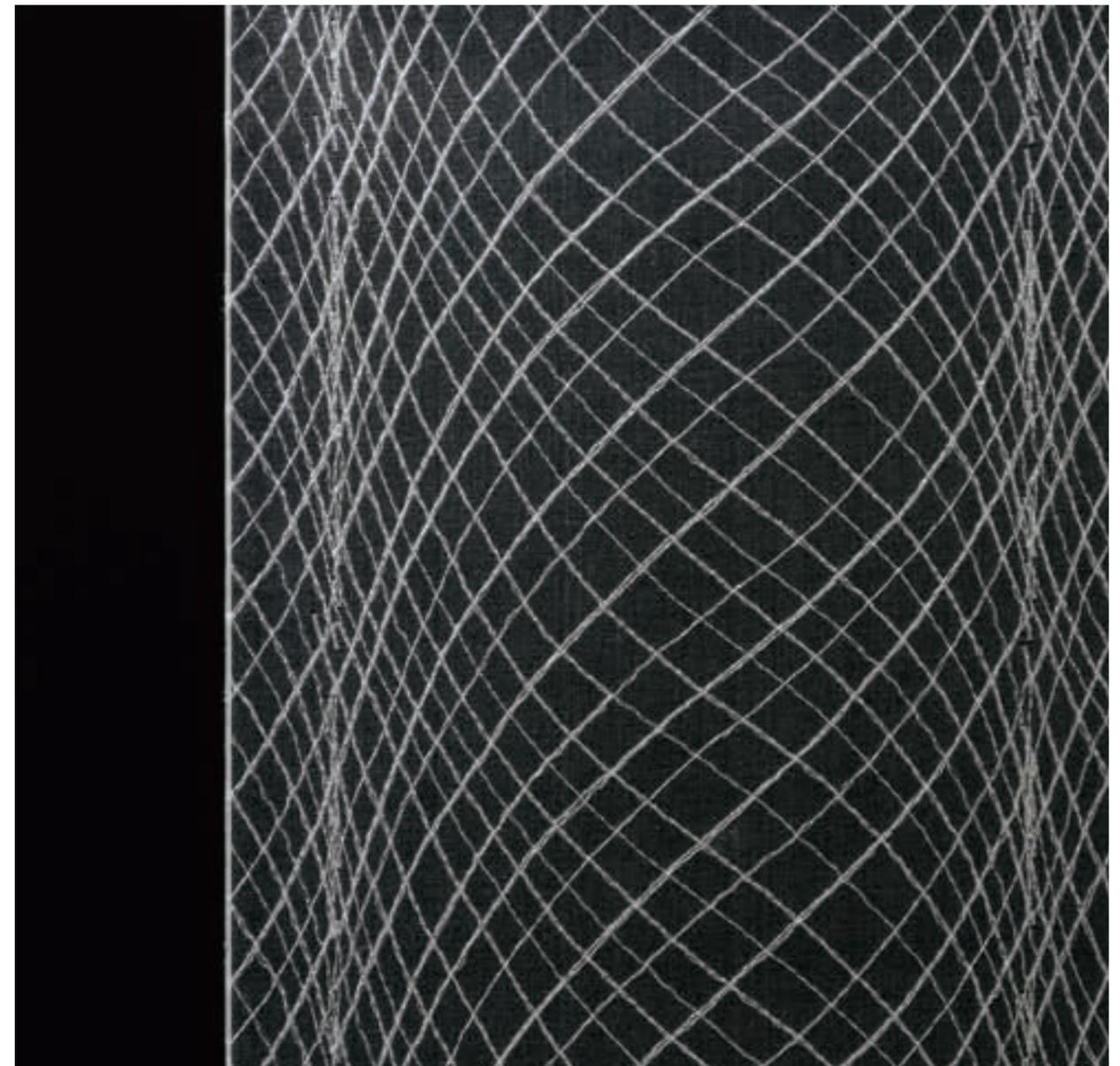
金糸



銀糸

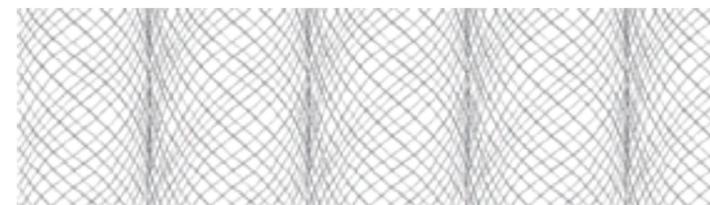


絹糸 (白糸)



巻網 Maki ami

網は福を絡め取ると言われており、シンプルな線の重なる美しさを持つことから江戸時代には「網目文」が流行しました。この曲線を連続性のある螺旋にして重ねることで、ドレープのような表情が浮かび上がります。



S = 1 : 5

Pattern Information
No. JY91266
Price group C

Color



金糸



銀糸



絹糸 (白糸)



葡萄唐草
Budo karakusa

シルク・ロードを渡り、飛鳥時代に伝来した代表的な唐草文様。伸びゆく蔓は生命力を、たくさんの実は豊穡の象徴とされる吉祥文様です。蔓で周りを巻き込み実をつける事から、周囲と共に願いを成就するという想いが込められます。



S = 1 : 5

Pattern Information
No. JY90867
Price group E

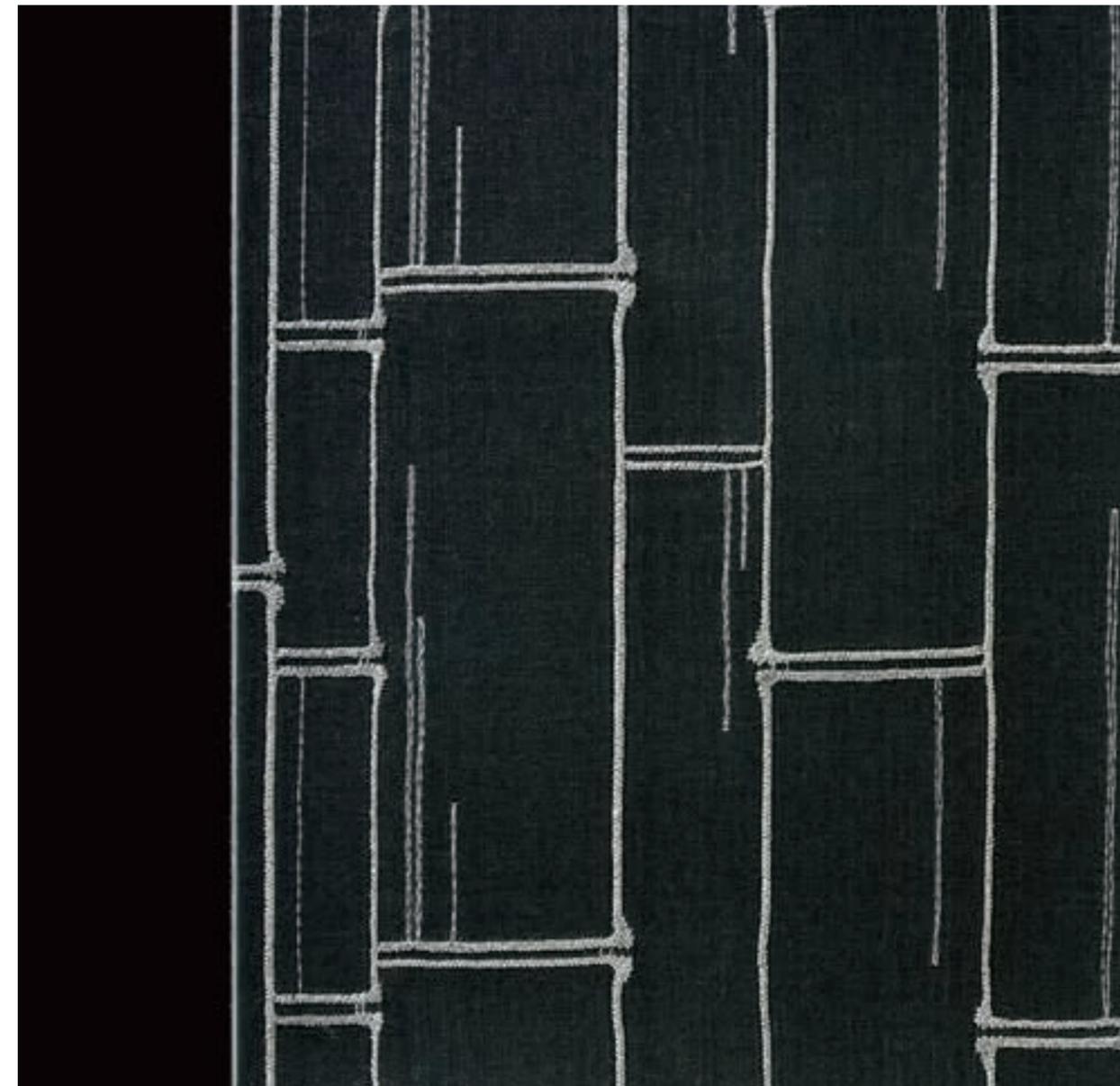
Color



金色糸

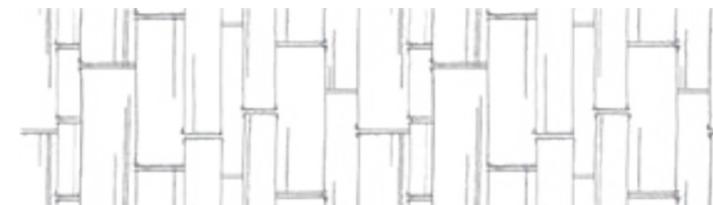


絹糸 (白糸)



竹林の道
Chikurin no michi

風雪にも折れることの無いしなやかで強い竹は、すくすくと成長する生命力に加え、一直線に伸びすっぱりと割れる性質からは潔白さも感じさせます。竹林を抽象化し、シンプルな意匠を刺繍で表現しました。



S = 1 : 5

Pattern Information
No. JY91407
Price group E

Color



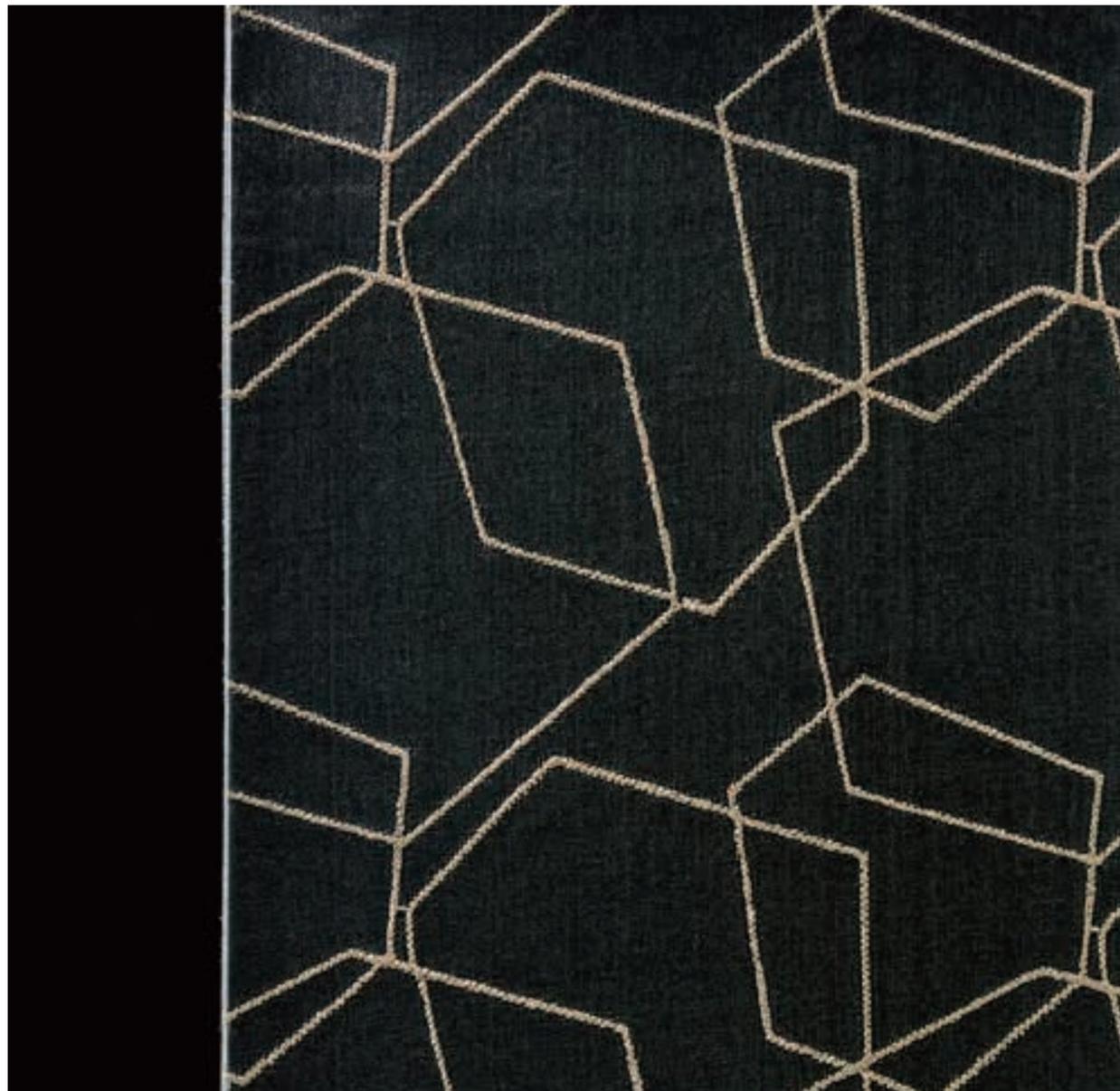
金色糸



銀色糸

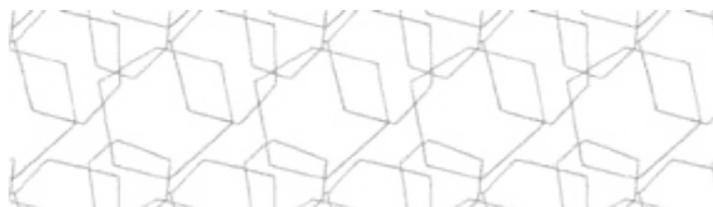


絹糸 (白糸)



永遠の石 Towa no ishi

変わることはない石は、多くの国の文化の中で永遠性を象徴しています。石垣のように重なり合う姿に、支え合いながら積み上げられる、長い時を経る世代を越えての継承や繁栄の意味を込めています。



S = 1 : 5

Pattern Information
No. JY91106
Price group S

Color



金色糸

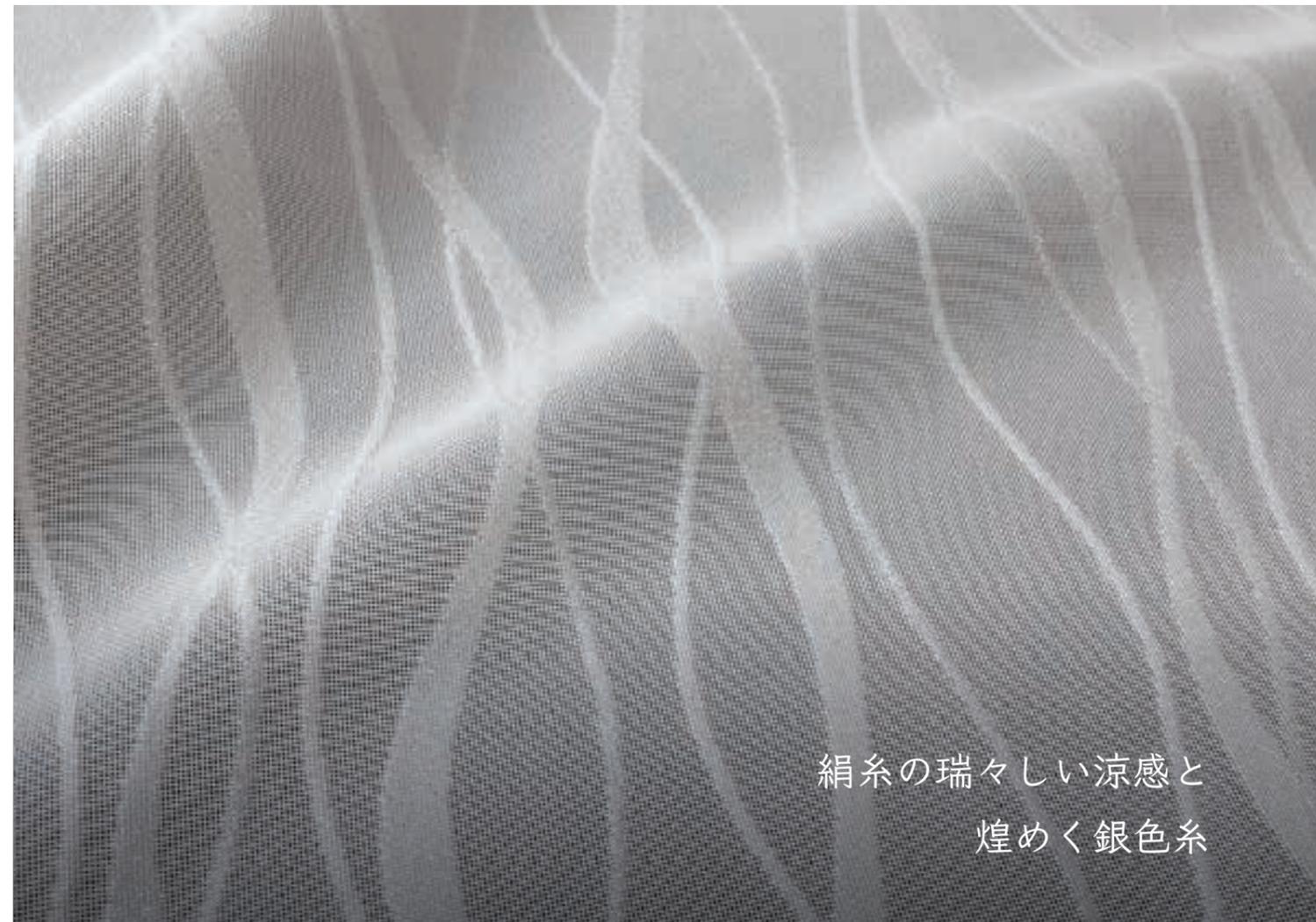


銀糸



絹糸 (白糸)

紋紗 — 銀通し —



絹糸の瑞々しい涼感と
煌めく銀色系

「紗」に地紋様を織り出した紋紗は、夏物のきものとして使われるシャリ感のある涼やかな絹織物です。格子状の均一な隙間がはっきりと出る地組織が特徴の「絡み織」と呼ばれる特殊な方法で織られています。国内でも希少な広幅の紋紗に銀色系を織り交ぜることで、陰影のはっきりとしたメリハリのある紋様となり、清涼感の中にも力強さを感じさせます。生地を染めると、薄絹よりもしっかりとした絹糸によって、ガラスに封入した際に瑞々しい艶が生まれます。

Fabric Information
Width 1200mm
Content Silk, Polyester



絹ガラス施工事例



絹ガラス封入イメージ



輪つなぎ
Watsunagi

Pattern Information
No. Y00002
Price group A

輪と輪の繋がりや広がりや絆を連想させ、平和や調和の心を表します。円を配した文様は、ご縁の意味が重ねられるため、縁起の良いものとして古くから好まれており、その種類も豊富です。

Color



銀通し



S = 1 : 5

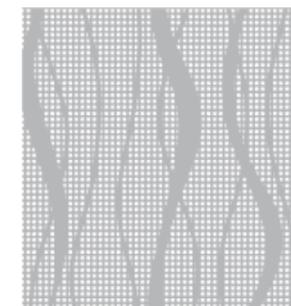


けぶり立涌
Keburi tatewaku

Pattern Information
No. Y00003
Price group A

有職文様のひとつである立涌は、水辺などで蒸気がゆらゆらと立ち昇る様子を図案化したもので、気が上がってゆく縁起の良い柄とされます。本来の具象に倣った意匠を織で表現をしました。

Color



銀通し



S = 1 : 5



気品と華やかさを併せ持つ
丹後ちりめん

約300年の歴史を持つ丹後ちりめんは撚糸によって生まれるシボが特徴のきものを代表する絹織物です。緯糸を二重にして地紋の変化と深みを出す、白無垢や振袖にも使われる装飾性の高い織をベースに、銀色系で華やかさを加えました。明るい色や淡い色に染めれば上品な生地に、色味や濃さによっては銀で織り出された紋様が浮き立ち、インパクトのある表情もつくれます。暈し染めでは色が濃くなるにつれ紋様が浮かび上がってくるような表現になります。

Fabric Information

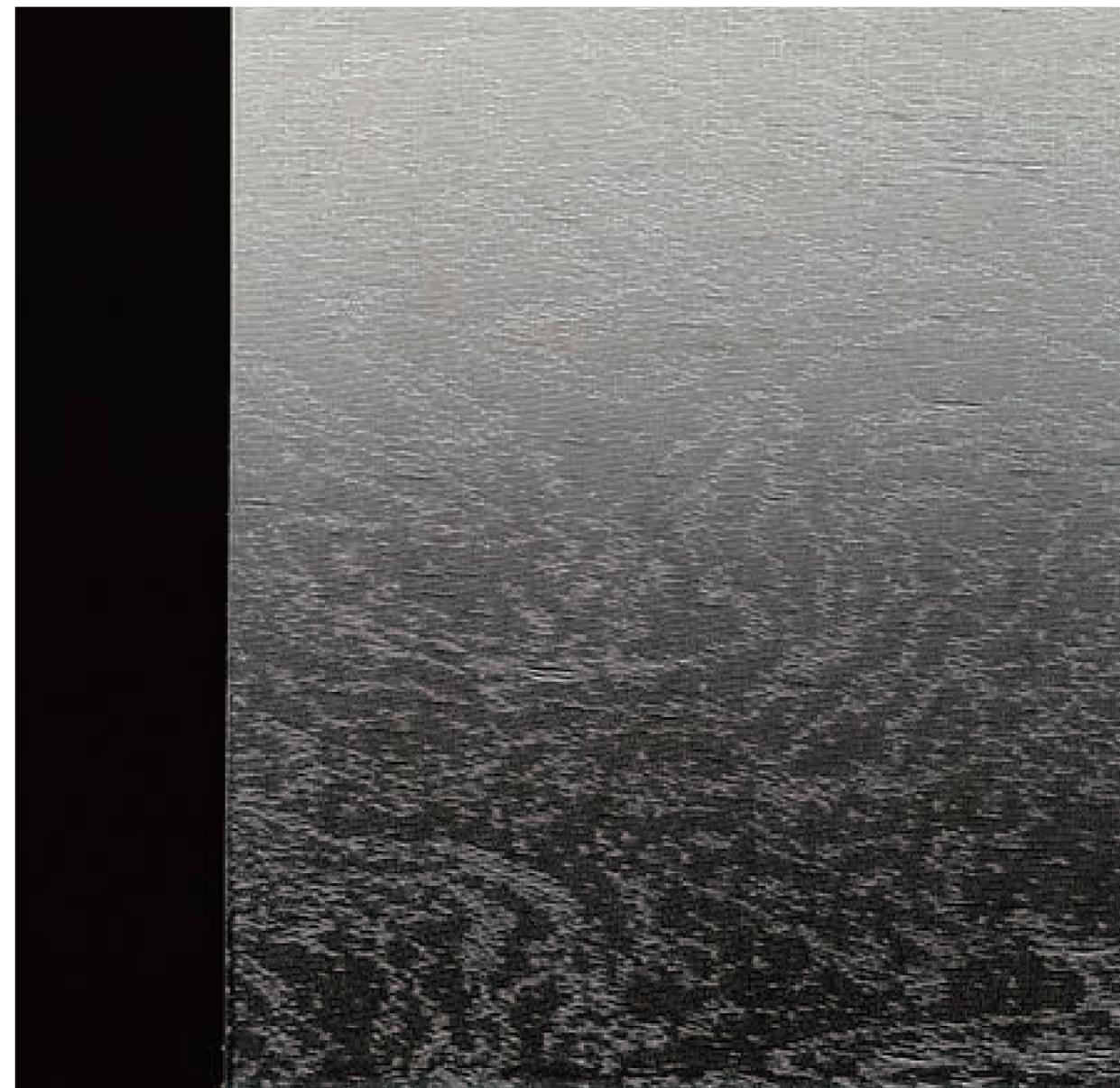
Width 1200mm
Content Silk,Polyester



染めイメージ



絹ガラス封入イメージ



墨流し
Suminagashi

「墨流し染」は平安時代の川面に墨を落とし自然な流れによって広がる模様を楽しむ宮廷遊びが起源とされています。「黒（苦勞）を水に流す」という願いを込め、嫁入り道具に染めた生地を忍ばせたという逸話も残っています。



S = 1 : 5

Pattern Information

No. MK0001
Price group E

Color



銀通し



木立
Kodachi

Pattern Information
No. MK0002
Price group E

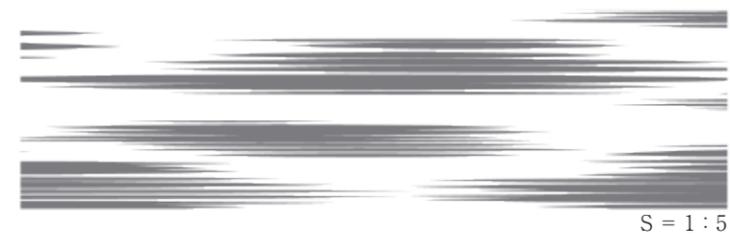
国土の3分の2が森林である日本では、木々が群がり、立ち並んでいる様は身近な風景の一つです。木々のシルエットを銀系で表現し、染めと合わせることでその様子が浮かび上がってきます。



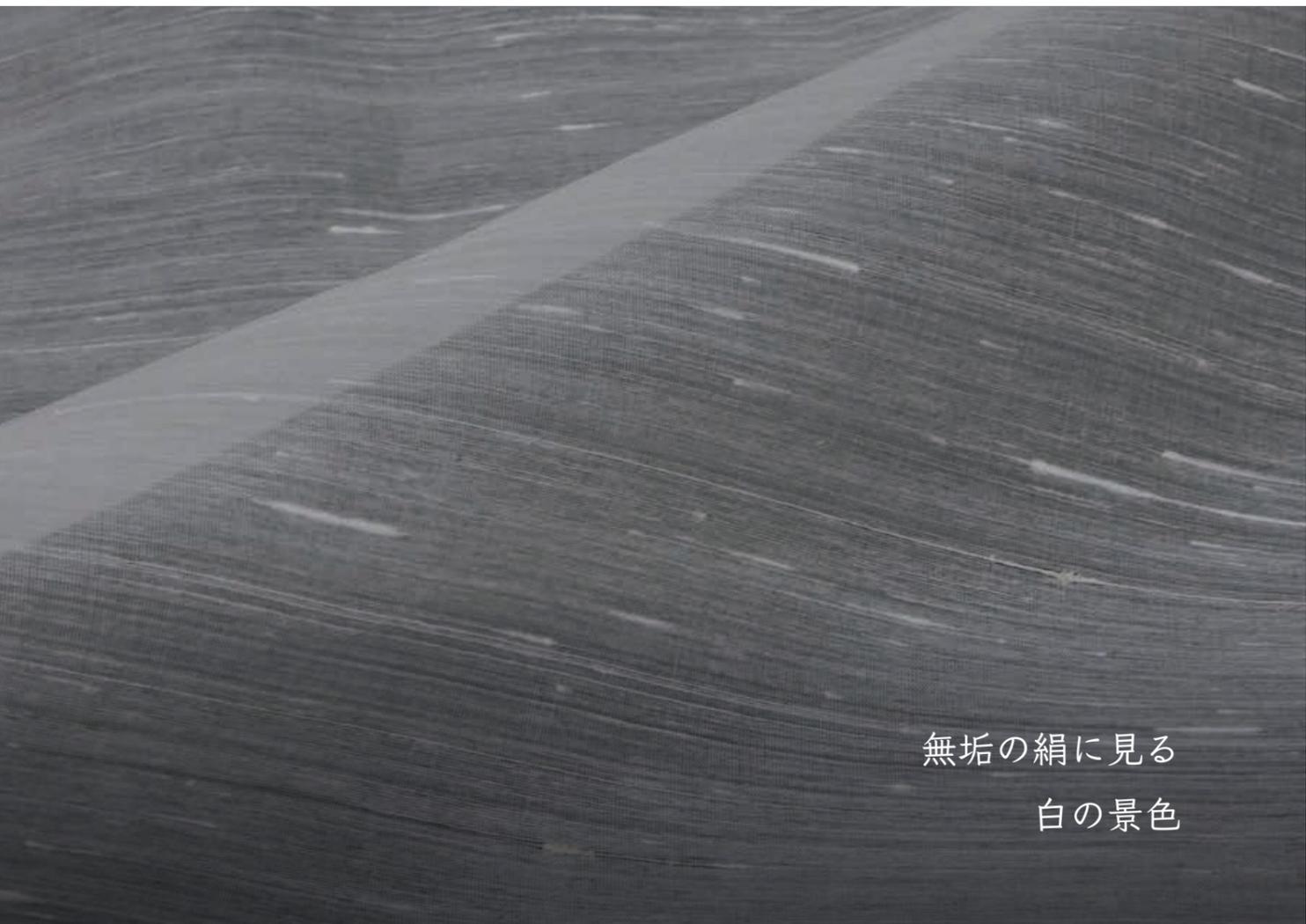
霞
Kasumi

Pattern Information
No. MK0003
Price group E

霞は空間的、時間的な場面転換や俗世から離れた存在の出現などに用いられるなど、場や曖昧な境界の表現として用いられてきました。変化をうつろいと捉える、日本人の感性を体現する文様のひとつです。



薄 絹



無垢の絹に見る
白の景色

紋様のない無地の薄絹は、シンプルな分それぞれに個性があります。そのまま無垢の状態でもお使い頂けますが染めや金彩でひと手、職人のを加えるとまた印象が一変します。手絞りでのしわ加工など、プレーンであるからこそ映えるバリエーションでは、絹の様々な表情をお楽しみ頂けます。養蚕から製織まで、国内で一貫する純国産絹の「松岡姫」をは、日本の絹文化と産地を未来へつなぐサステナブル素材としてご提案をしております。



染色：金彩イメージ



絹ガラス封入イメージ



霞絹

Kasumi ginu

紬のような風合いを持ちながら、透けるほどに薄く織られた「霞絹」は節糸を緯糸に使用しています。ゆらぎのある濃淡と独特の透け感は、素朴で、どこか幻想的な雰囲気のある空間をつくり出します。緯糸には、二頭の蚕が一粒をつくる「玉繭」から製糸した「玉糸」と、上品で美しい光沢を持つ国産繭の「松岡姫」の2種類からお選びいただけます。



「玉糸」朱色無地染



「松岡姫」紺碧色無地染

Pattern Information

No.	MI0001
Price group	A
Width	1500mm
Content	Silk
Color	絹糸（白糸）



※絞り染め加工を施した場合の絹ガラスのイメージです。

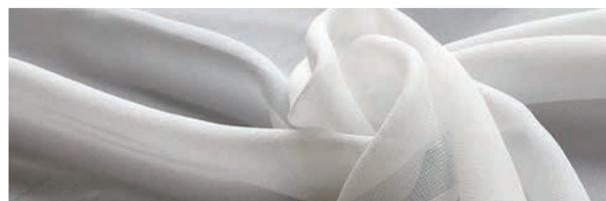
シルクシフォン

Silk chiffon

国産ブランド蚕種「松岡姫」を100%使用したシフォン生地。独特の風合いと上質で柔らかな質感が特徴。薄く透明感があるため、重ねあわせることで透過性を調整することも可能です。染めとの相性も良く、表現の幅が広い生地です。

Pattern Information

No. TY0001
 Price group A
 Width 1400mm
 Content Silk
 Color 絹糸（白糸）



生地イメージ



絞り染めイメージ



※霞絹に絞り加工を施した絹ガラスのイメージです。

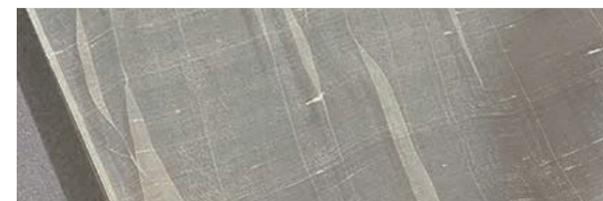
手絞り

Teshibori

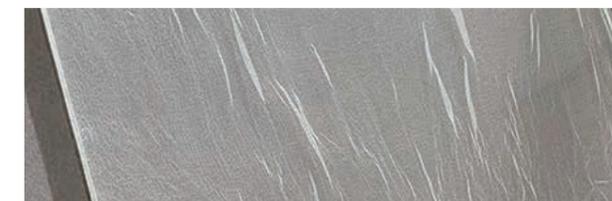
薄絹の霞絹やシルクシフォンに手絞り加工を施した生地です。細かなシワが複雑に入ることで、薄絹特有の透け感や重なりを表現することができます。一つ一つ手作業で絞るため、シワの入り方も調整でき、ランダムで自然な仕上がりになります。生地中はシワの入り方によって変化します。

Pattern Information

No. MY0001
 Price group 特注加工
 Width 1200mm程度
 Content Silk
 Color 絹糸（白糸）



霞絹



シルクシフォン

特注加工



白生地をより華やかにするために大きく二つの後加工がございます。一つは染色加工、もう一つが金彩加工になります。これらは本来着物に使用される技術の一つで、白生地を用途や雰囲気に合わせて多種多様な表情へと変化させてくれます。伊と幸ではこれらに精通した伝統工芸士や熟練の職人とコラボレーションし、伝統とモダンが融合する空間づくりを提案しています。ここでは、この二種類の加工につきましてそれぞれご紹介致します。

金彩加工



京の名工による
白金の技

金銀箔などの金属箔を用いて着物に華やかな彩りを加える金彩加工。連綿と受け継がれてきた職人達の技は、京友禅の歴史と共に発展してきました。歴史を見ると平安時代中期の衣装まで遡れますが、現在につながる金彩が確立したのは、安土桃山時代から江戸時代頃であるとされています。紋様の輪郭を強弱をつけた線で際立たせる「くくり」、箔を細かく砕いた金粉を絶妙な加減で生地に落としていく「振金砂子」など、技術と感性を必要とする意匠を作り出します。薄い絹織物と金彩の組み合わせは、透明感と上品な箔の照りの相性が良く、生地をガラスに封入すれば薄い絹の膜に金彩の世界が浮かび上がります。京の名工による一品として、空間やそのコンセプトに合せ、色や柄、箔の質感など、ご要望に合わせお誂え致します。



絹ガラス封入イメージ



筒描き

Tsutsu-gaki

金入り糊を筒紙に入れて金線描きをします。筒紙の先端には先金と呼ばれる絞り口をいれ、その先金の口の太さによって線の太細を調整します。粘力のある糊を使用した盛上線描技法は立体感のある線描きも可能にします。



振金砂子

Hurikin-sunago

糊を置いた上に砂子状の細かな箔を振り落として接着させます。砂子筒と呼ばれる、筒に金網を貼った専用の道具に箔を入れ、刷毛で筒の中の箔を揉み落とします。金網の目の粗さによって砂子の細かさを調整することが出来ます。



摺箔

Suri-haku

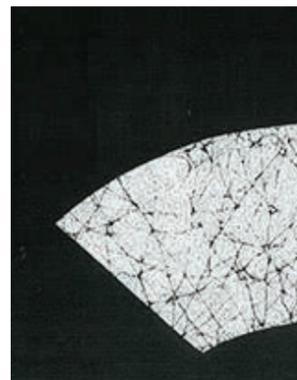
型紙を使って糊を摺り、箔を置きます。金銀粉と糊を混ぜた「金泥」を直接摺る方法もあります。最近では、型紙の代わりにシルクスクリーンの型を使う場合があります。金彩の中で最も古い歴史を持ち、印金から発達した技法でもあります。



切箔・野毛

Kiri-haku, Noge

切箔は、裁箔とも書き、その名の通り箔を切断し、生地に接着させる技法です。野毛は、特に箔を糸状に細かく切断したものを指します。箔は竹刀と箔盤（箔切台）を使い、複数枚合わせて切断、又は一枚を様々な形に切断します。



真綿金彩

Mawata-kinsai

自然な亀裂模様を表現する技法です。この技法は、繭を薄く蜘蛛の巣状に広げ、柿渋で硬化させた真綿の型を使用します。糊を置いた生地の上に真綿を置き、さらに上から箔を置きます。真綿を剥がせば、そこだけ箔が接着されず、文様になります。



霞絹（黒色染め）金彩加工

染色加工



白生地を鮮やかに美しく染め上げる
熟練の技の数々

白い絹糸で織上げた絹織物を染める事を「後染め」と呼びます。単色で染める無地染めはシンプルで奥の深いものですが、その他にも後染めには多種多様な表現方法があります。印刷では再現の難しい色も丁寧な調色によって加工ができ、意匠を作り上げる事ができます。「引き染」の暈しは自然なグラデーションを描き、「絞り染」では生地によって変化するにじみが生まれ、「墨流し染」は水に浮かぶ現象としての意匠そのものをうつしとります。染料が自然に生地へうつってゆく、色の一瞬の景色を染付ける技がきもの染色加工です。多様に変化し、進化するこれらの技法をインテリアにも応用することで、伝統技法を用いた鮮やかな空間演出を可能にします。



暈し染イメージ



引き染

Hiki-zome

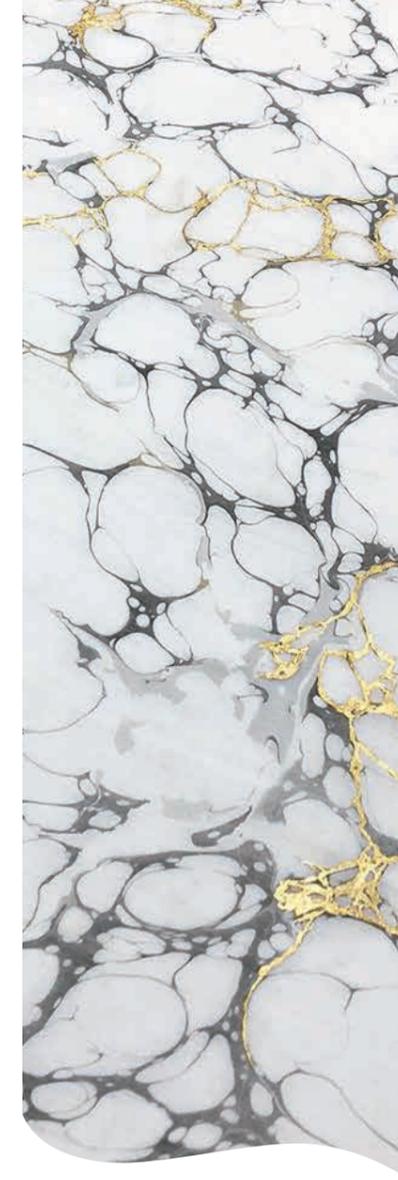
刷毛で染料を塗布する技法です。単色で全体を染める以外に、刷毛の繊細なタッチにより、滑らかで美しい暈しを描くことが出来ます。引染技法は特に日本で発達し、友禅染や小紋染などにもその技法が使用されています。



絞り染

Shibori-zome

生地の一部に圧力をかけて防染することで、染料が染み込む部分と染み込まない部分が出る性質を使った染色技法です。圧力をかける方法には、糸で縛ったり、縫い締めたりする等、様々な方法があります。インドで発祥し、日本に伝来した絞り染めは奈良時代頃には多くの技法が生まれました。



墨流し染

Suminagashi-zome

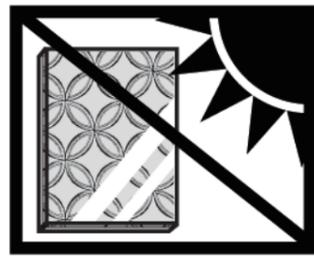
水面に染料で模様を描き、生地に写しとる技法です。染料を垂らし、そこにさらに別の色を重ねることで輪を広げたり、風を送って染料を動かすことで線を描いたりすることが出来ます。元々墨を用いる技法ですが、染料等を用いることでより多様な表現が可能になった技法です。



注意事項

素材特性

正絹の薄物など絹ガラスシリーズの生地は、全て天然素材である絹を使用しております。そのため、節が不均一であったり、歪みや染め上がりの差異が生じる場合がございます。また、天然素材の性質上以下の点にご注意ください。



① 屋外や直射日光が当たる場所には置かないでください。



② 湿度が高い場所や水を使用する場所はお避けください。



③ コンロ前等、高温になる場所での使用はおやめください。
※絹は発火し難く、自消性を持っていますが、火の近くでの使用はお避け下さい。

生地特性

繊細な紋様表現と絹の特性上、以下の制約がございます。

- ① 生地巾に関しまして
合わせガラス等の製作上、生地巾に引っ張り代が必要となります。生地巾に対し、絹ガラスや絹障子等の仕上がり寸法は-50mmとなります。
- ② 刺繍生地や節系のある生地に関しまして
刺繍や節系によって生地に凹凸が生まれます。加工方法によっては内部に気泡が発生したり、表面にも凹凸が出る場合がございます。
- ③ 生地「ヨレ」や柄物「ズレ」に関しまして
生地特性上、製作段階で「ヨレ」が発生する場合がございます。柄物や縦縞等は複数枚ある場合、ヨレや天然繊維の特性によって柄ズレが発生する場合がありますため、完全な意匠統一は出来ません。



絹は、お蚕さまの命から生まれます。

大切に育まれたお蚕さまから、上質な繭糸を頂戴して、伊と幸の匠、技と感性を極めて、至高の白生地に織り上げています。

身を装うきものとして、また空間を装う「絹ガラス」としても展開しています。



株式会社 伊と幸

〒604-8176
京都市中京区龍池町448-2 伊と幸ビル6F

Tel : 075-254-5884
Fax : 075-256-2818
Mail : itoko@silkglass.jp



<https://silkglass.jp>

東京でもご覧いただけます

crafTecギャラリー内

〒141-0022
東京都品川区東五反田5丁目25-19
東京デザインセンター 5F



Tel : 03-3445-1121

<https://www.craftec.jp>

